

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立新森小路小学校

令和 8 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合は76%で、目標達成(85%以上)至らなかった。
- 令和7年度小学校学力状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけない」に対して、最も肯定的な回答する児童の割合は80%で目標(78%以上)を達成することができた。肯定的な回答も93%と高水準であるが、7%の児童は否定的である。
- 令和7年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合は74%で、目標達成(81%以上)には至らなかった。
- 令和7年度小学校学力経年調査における「きまりをまもっていますか」に対して、肯定回答の割合が84%で、目標達成(90%以上)には至らなかった。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度小学校学力経年調査における「国語の学力に課題の見られる児童を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる」に対して、いずれの学年でも1向上させ、学校全体で8.7p向上させることができ、目標を達成することができた。
- 令和7年度小学校学力経年調査における国語と算数の基礎的事項は、いずれも4学年中3学年で大阪市平均を下回っている。
- 令和7年度小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合が85%で、目標(67%)を達成した。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点は、令和6,7年度の2年間は男女とも大阪市平均を上回っているが、全国平均を上回っているのは令和6年度の女子のみである。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数は、年間授業日の80%で、目標(50%以上)を達成することができた。
- 令和7年度、第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合は55%で、目標(60%以上)達成には至らなかった。

【その他】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合は67%で、目標(72%以上)達成には至らなかった。

上記の結果より、生活規律・学習規律、その中でも「あいさつすること」「人の話をきくこと」「ルール(きまり)を守ること」を徹底していく。また、「ちがいを認めること」「自分を好きになること」「チャレンジすること」も重視する。

これら6点の取組を進めていけば、児童が安心して学校生活を送ることができ、学力・体力も向上すると考える。また、自分も周りにいる人も大切にできれば、児童が楽しく学校生活を送ることができ、いろいろな経験をすることができると考える。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を 1.00 以上にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を 1.00 以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに 1.00 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- 令和 11 年度の教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 24 時間以下にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.3 ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 68%以上にする。
- 令和 7 年度の教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 25 時間以下にする。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 68%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立新森小路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1. 安全・安心な教育環境の実現】 「学校が楽しい」と思えるような行事や取り組み、学年での活動などの機会を充実させる。 ----- 指標 ・ 学期に1回程度、各学年や委員会などで児童の「好き」や「得意」が活かされたり「興味関心」が高まったりするような体験的な活動(校外学習・出前授業・異学年交流・縦割り班活動・各学年行事など)を設定する。	
取組内容②【2. 豊かな心の育成】 お互いのちがいを認め合う活動を通して、自他を尊重する気持ちを育む。 ----- 指標 ・ 各学年で人権実践を行い、年間1回校内で共有し教職員の人権意識を高める。 ・ 学期に1回程度、児童会(縦割り班でのにじいろ集会なども含む)を中心とした「あいさつ運動」など他者との関りを重視した取り組みを行う。 ・ 学期に1回程度、いじめについて考える日を設定する。 ・ 年間1回程度、各学年でいのちや性・障がいなどについて学ぶ機会を設ける。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立新森小路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 ○小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.3ポイント向上させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【4. 誰一人取り残さない学力の向上】 学力に課題のある児童を中心にした取り組みを行う。	
指標 ・ 週に一度、学力向上タイムで、漢字の学習・基礎的な計算問題に取り組む。 ・ 国語、算数に課題のある児童を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も小学校学力経年調査全国比を前年度より0.03ポイント向上させる。	
取組内容②【5. 健やかな体の育成】 子どもが意欲的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをするような取り組みを実施する。	
指標 ・ 子どもが意欲的に運動に取り組むよう、運動委員会による外遊びの呼びかけ、集会員会による遊びの紹介などを実施する。 ・ 各クラス週1回以上、運動場でのみんな遊びを実施する。 ・ 体育の準備体操の時に、柔軟体操を1つ以上取り入れる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立新森小路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ○令和7年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。 ○令和7年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下にする。 ○令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【6. 教育DXの推進】 学習管理システム(Google Classroom)を活用した学習活動に取り組む。 ----- 指標 ・ 学習管理システム(Google Classroom)を活用した学習活動を、週に一度実施する。 ・ 学習管理システムに関する研修を、年間3回実施する。	
取組内容②【7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教員が働きやすい環境を整備し、長時間勤務の解消を図る。 ----- 指標 ・ 一部の教職員に業務が偏らないようにしたり、時間割を変更したりすることで、放課後の時間を確保する。 ・ 学校閉庁日については、夏季休業期間は3日以上、冬季休業期間は2日以上設定し、実施する。	
取組内容③【8. 生涯学習の支援】 本を読む機会を増やしたり、読書が好きになるような取り組みを工夫したりする。 ----- 指標 ・ 毎週水曜日と金曜日に読書タイムを実施する。 ・ 目標冊数に達した児童を年2回表彰する。 【前期】…1.2.3年生 50冊 3.4.5年生 30冊 【後期】…1.2.3年生 60冊 3.4.5年生 40冊	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

